

(代表質問)

質問日	令和 5年 6月 16日 (金)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	42	氏名	鳥井 徳孝
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 本市の現状と課題について	<p>(1) 本市の現状と課題についての市長の認識と、もっと元気にするためのグランドデザインについて伺う。</p> <p>(2) 浜松市総合計画の第二次推進プランにおいて、ウェルビーイングの視点を取り入れ、市内外に大きく発信し本市を住みやすいまちとしてアピールすることが重要と考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 次期財政計画においては、市債残高の目標から臨時財政対策債を外すなど、最適な投資を前提とした計画にすべきと考えるが、市長の考えを伺う。</p>						中野市長
2 安全・安心なまちづくりについて	<p>(1) 防災について 多発する大規模災害に対して、持続可能で安全・安心なまちづくりを推進するには、洪水対策・道路対策等の総合防災対策の戦略的な取組が必要と考えるが、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 道路交通安全対策について 交差点改良や歩行者空間の確保などの交通事故ワーストワン脱出に向けた道路インフラ整備に対する考えについて伺う。</p>						中野市長
3 家庭ごみ有料化制度の検討状況について	<p>家庭ごみ有料化制度については、住民説明会、意見聴取を行ってきた。会派内の協議でも有料化への理解の声がある一方で、現況の経済状況下における負担増への懸念や目的、効果に対してさらなる説明を求める声が多く、実施に向けた合意形成には至っていない状況にある。</p> <p>これまでは昨年11月議会において、今年の9月議会を目途に判断を仰ぐとの答弁があったが、現時点での家庭ごみ有料化制度に関する市長の考えを伺う。</p>						中野市長
4 子ども・子育て支援と教育環境の整備について	<p>少子化傾向を反転できるのは2030年代に入るまでと言われている中、国の施策に頼るだけではなく本市としてもスピード感を持って独自の子ども・子育て支援を拡充していく必要がある。両親共に働きながら子育てをするライフスタイルがスタンダードになりつつある中、子育てのステージやライフスタイルに合わせ、いつでも安心して預けることのできる柔軟な受入れ体制の整備と子育て世帯の経済的負担や心理的な不安の軽減、解消に</p>						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>向け、以下3点伺う。</p> <p>(1) 子育てのステージや子供の特性等によって抱える悩みは異なるが、市長が公約に掲げた6歳児までの子ども医療費無償化や、保育所等の就学前保育施設の職員配置に対する考えなど、妊娠・出産・子育てに関する施策について伺う。</p> <p>(2) 安心して子供を預けられる環境を整えることが重要と考えるが、放課後児童会の待機児童ゼロ達成の取組について、市長の考えを伺う。</p> <p>(3) 少子化が加速する一方、不登校児童・生徒数は増加の一途をたどっている。「まなびの教室」の拡充や、国が県や政令指定都市に1校ずつの設立を目指している不登校特例校の設置等を含め、本市の考えを伺う。</p>	<p>中野市長</p> <p>〃</p> <p>宮崎教育長</p>
5 若者の転出・転入対策について	<p>(1) デジタルITの専門教育課程となる情報系学科へ進学する若者の流出を抑えるため、地域特性を生かし、地元企業と連携し、デジタルIT人材を育成する高等教育機関の設置や講座開設などを行うべきと考えるがどうか伺う。</p> <p>(2) デジタルIT人材のUIJターンを促すため、研究機関・IT関連企業の誘致と地元企業への採用強化に取り組むべきと考えるがどうか伺う。</p>	中野市長
6 産業振興について	<p>地方創生に関しては、地域資源を生かした地元産業の生産性向上や高度化、企業収益力や市民所得の向上による市内GDPの目標達成に向け、積極的な産業振興への投資が必要と考える。そこで、各産業分野での財政投資や振興事業について伺う。</p> <p>(1) 第一次・農林水産業について</p> <p>(2) 第二次・ものづくり製造業について</p> <p>(3) 第三次・観光及びサービス産業について</p>	中野市長
7 持続可能で創造性あふれる地域づくりについて	<p>(1) 地域運営について 再編の円滑な移行に向け、区協議会や地区コミュニティ協議会について、特別委員会での議論が再開されているが、地域特性のある本市各地の地域運営の在り方と、支援の方針について、市長の考えを伺う。</p> <p>(2) 中山間地域振興事業について 農業生産活動や水源涵養などの公益的機能の保全のためにも、中山間地域の振興は大変重要であると考えます。そこで、事業推進体制と施策目標について、市長の考えを伺う。</p>	中野市長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>(3) まちなかの再生について 少子高齢・人口減少社会の本格的な到来により、本市を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、本市の中心市街地における道路空間の再配分や施設更新、低未利用地の利活用等、人中心のまちづくりに向けた新たな都市空間の再構築と都市デザインが必要と考えるが、市長の「まちなか再生」の基本的な考えを伺う。</p> <p>(4) スポーツ振興について スポーツの振興は、コンテンツへの参加、観戦、人材育成といった複合的な観点が必要であるが、さらなる工夫やアイデアによる事業が期待される。また、民間企業や団体との連携を強化し、誘客や地域づくりの視点を踏まえた指定管理者制度の高度化や設備周辺の面的整備など、複合的な官民連携手法の導入が必要と考えるが、スポーツ振興に関する市長の考えを伺う。</p>	